

令和5年12月15日
延市P連発 第31号

各小・中学校
PTA会員各位

延岡市PTA連絡協議会
会長 荒木 大介
研究大会
実行委員長 稲葉 竜太

PTA連絡協議会設立60周年記念 第28回 延岡市PTA研究大会 開催について

各小・中学校PTA会員の皆さまにおかれましては、日頃よりPTA活動へのご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症流行の影響を大きく受けた2020年からの3年間、子どもたちが学ぶ学校においては児童、生徒間の交流や、保護者、教職員の方々との交流も少なくなり、コミュニケーションの機会が失われた日々が続きました。本年度より色々な活動が再開されるようになりましたが、考えさせられるような現状もあります。

それは様々な要因でなかなか通常の学校生活を送ることができない子どもたちが増えてきたことです。悩みや葛藤を抱えている保護者も少なくはありません。『学校に行きづらい＝マイナスイメージ』ばかりではなく、子どもの自由な意思表示の一つであること。自分の家庭にも起こることかもしれない。その時に保護者としてどのように向き合っていけるのか。経験者家族の体験を通して、一緒に考え共有する。

今年度のPTA研究大会は、身近なところで起こっていることを取り上げ、広く知ってもらいたい。人の悩みや痛み、苦しみを理解し合える、共有し合えるPTAの趣旨のもと、ぜひご家族、ご夫婦で聞いて体験して欲しい大会として企画しました。

PTA連絡協議会設立60周年の節目の大会になります。ぜひご参加ください。一緒に学びましょう！

学ぼう・知ろう、様々な家庭・家族のカタチ ～子どもの幸せがど真ん中～

1. 研究テーマ 「多様性社会での、子どもの学びの多様な選択肢を考える」
2. 日 時 令和6年1月13日(土) 12時30分受付開始 16時30分終了
3. 会 場 野口遵記念館
4. 主 催 延岡市PTA連絡協議会
5. 後 援 延岡市教育委員会
6. 参加費 無 料
7. 参加申し込み方法 QRコードをスマートフォン等で読み込んでいただき、必要事項を入力してください。
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です
8. 申し込み締め切り 令和6年1月5日(金)
9. お問い合わせ先



延岡市PTA連絡協議会 事務局(月・水・金 9:00~17:00)
延岡市本小路39-1 社会教育センター3F 団体室
電話/FAX 0982-(21)5787
E-mail nobeoka-pta@lily.ocn.ne.jp (ーはハイフンです)

裏面もご覧ください

10. 日 程

| | | | | | |
|--------|---------|-------------|-------|---------|-------|
| 12:30～ | 13:00 | 13:30～14:30 | 14:30 | 14:40 | 16:20 |
| 受付 | アトラクション | 開会記念式典・表彰 | 休憩 | 講師紹介・講演 | 閉会行事 |

11. 内 容

- ◇アトラクション 和太鼓道場 巴塾
- ◇開会行事および市P設立60周年記念式典
- | | | |
|----------|------------------|---------------------------|
| 開会宣言 | 研究大会実行委員長 | 稲葉 竜太 |
| PTAの歌 斉唱 | | |
| 主催者あいさつ | 延岡市PTA連絡協議会会長 | 荒木 大介 |
| 来賓祝辞 | 延岡市長 | 読谷山 洋司 |
| | 宮崎県PTA連合会会長 | 森山 慎作 |
| 表 彰 | 延岡市PTA個人・団体 | |
| | 延岡市PTA新聞コンクール | |
| | 延岡市PTAロゴマークコンテスト | |
| ◇講演 | 講 師 | 北浦町 NPO 法人 陽の環 理事長 小泉 明子氏 |
| | 演 題 | 「子どもの生き方・学び方のカタチは無限大∞」 |
| ◇閉会行事 | 閉会宣言 | 延岡市PTA総務委員長 山下 真司 |

講師紹介

特定非営利活動法人 陽の環 理事長 小泉 明子 氏

延岡市出身。延岡高校、福岡教育大学小学校課程音楽科卒業、福岡教育大学大学院教育学専攻科修了。

福岡県と神戸市で小学校教諭として勤務。在職中に特別支援コーディネーターとして、不登校や学校生活に難しさをもつ児童や保護者の話を聞かせて頂く活動を行う。

ひとり親家庭となり、子どもの不登校も経験する。また一人暮らしになった父親の生活を見守るために令和2年3月に退職し、延岡に帰郷。自然豊かな北浦町を移住先として選ぶ。

延岡市の小学校等の講師を経て、不登校の子どもの居場所が少ない現状に驚く。

「それはあかんやろ！」と一念発起しフリースクール「学び舎ヒノワ(陽の環)」を立ち上げる。令和4年6月 特定非営利活動法人 陽の環として法人化した。

学び舎ヒノワ(陽の環) スタッフ 小泉 陽平 氏

神戸市出身。小学生の頃から学校になじみにくく、4年生の頃から行きづらくなる。中学1年生の途中から週2～3回の登校になり、中学2年生ごろから「不登校」。

高校は不登校経験者が集まる兵庫県「生野学園」に入学し、高校生活を謳歌。高校卒業後は一人暮らしになった祖父を助けたいと宮崎へ。

母が立ち上げてしまった学び舎ヒノワで子ども達と遊び、田畑を担当中。